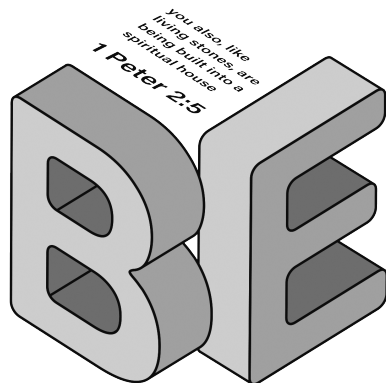


# YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。  
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/12/29(月)

## 詩篇 92篇

●この歌を書いた筆者は、神様への感謝をどのように表しているだろうか。(1-4節)自分はどのように神様に感謝を表しているか考えてみよう。

●5-6節。神様のみわざの大きさ、御思いの深さをどのようにして知ることができるだろうか。それらを悟る思慮深く賢い者とは、神様を心から恐れる人のことを言うよ。みことばを読む時に、神様ご自身を深く知ることができるようにお祈りしよう。

「主は正しい方。わが岩。主には偽りがありません。」この告白を自分の告白としよう！

2025/12/30(火)

## 詩篇 93篇

●主なる神について、どのようなことが歌われているかを読んで思い巡らそう。

●万物の創造者であり、全知全能の主、聖なる方の前に、私たちは何者であるのだろうか。

人にすぎず罪を持つ僕らが、このような神様の前に出ることは到底敵わないような思いにさせられるけれど、イエス様が十字架で流された血潮によって、僕らは神様の子どもとして大胆に神様に近づくことができるんだ。その恵みの大きさを静かに考えよう。

2025/12/31(水)

## 詩篇 94篇

●君の周りには、どのような悪があるだろうか。そのことで苦しんだり悩んだりしていることはあるだろうか。

●神様は「復讐してはならない」(レビ19:18)と私たちに命じている。それは人がすることではなく神がするものだというんだ。神様に信頼して善いことを行うことがみこころだとしたら、そのための私たちに必要な助けはなんだろうか。

●20-21で語られていることは、イエス様を死刑に定めた裁判を思い出させるね。イエス様はそのような時も神様に信頼して自分で裁くことはしなかったんだ。イエス様の姿をいつも覚えていよう！

2025/1/1(木)

## 民数記 1:1-29

●この箇所が出来事はエジプトを出てどれぐらいだったかな？ 1節

●神様は氏族ごとにどうやって数えさせたかな？ 18節

●この箇所はシナイの荒野から約束の地に行く前にモーセたちが準備していた箇所だよ。神様はこの人口調査のように一人ひとり、私たちのことも数えて覚えておられるよ。それに、この調査は戦える人を探すためでもあったよね。約束の地への旅でのアクシデントのためだよ。私たちも信仰生活においてみことばで養われて戦えるようになりたいね。今日から新しい年だけど、今年も神様に守られるように、神様いっしょにいられるように祈ろう！

2025/1/2(金)

## 民数記 1:30-54

昨日に引き続き、イスラエルの部族ごとの人数の登録について書かれているね。

●1部族だけ登録されない部族がいたね。何部族かな？ 47,49節を読もう。

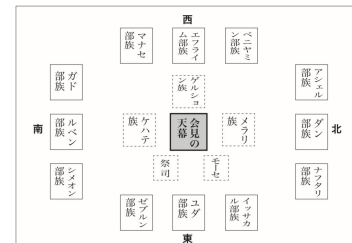
●レビ部族には他の部族とは違う役割があったね。どんな役割だろう？ 50,51節を読もう。  
何か特別そうな役割を持つ人を見る時、きみはどう思う？

●神様は一人ひとりにその人だけの役割を与えてくれているよ。そして、役割を果たすために必要なものも神様が与えてくれるんだ。きみに与えられているものってなんだろう？

2025/1/3(土)

## 民数記 2章

今日の箇所では、イスラエルの12部族がそれぞれどこに寝泊まりすればいいか、下の図のように方角によってそれぞれの場所が決まっていた。エジプトを出て、約束の地に向かう道中で立ち止まる度にこの形で部族ごとに留まり、出発する時にも決まった順番で行くことになったんだ。そこにはそれぞれの部族に与えられた役割があり、真ん中にはいつも神様の臨在があるよ。私たち教会も神様の臨在が真ん中であってそれぞれに与えられた役割がある。今日私たちの中心に神様を迎えよう！そして教会で自分は何ができるか、考えてみよう！



2025/1/4(日)

## 民数記 3:1-13

この箇所では、幕屋に仕える祭司とレビ族の役割が確認されています。祭司やレビ族に必要とされたことの中心は、「主に従うこと」でした。

神様に仕える人は、自分の思いや方法ではなく、神様のみことばに聞き、みこころに従う必要があったんだね。私たちも、聖なる祭司として、この地に仕える一人ひとりです。牧師先生や、宣教師の先生と役割は違っても、神様に従って献げる歩みは変わりません。

今日のみことばから、この新しい一年を、主に従って歩むことが出来るように祈ろう。